

「Dreams Come True ~ I want to be like ○○ ~」

- 1 日 時 令和2年10月14日(水) 6時間目
- 2 学年・学級 2年A組(男子15人 女子9人 計24人)
- 3 単元名 My Project 5 「スピーチをしよう—こんな人になりたい」
(Sunshine English Course 2 開隆堂)

4 本単元を指導するにあたって

【単元観】

本単元は、不定詞を活用して自分が就きたい職業や憧れの人を表現できるようにするという内容である。自分の将来の夢と憧れの人物を紹介し、その理由を述べる英文を作成して、実際にスピーチをすることがねらいである。1年次のMy Project 2での「他者紹介」、My Project 3での「情報収集」、2年次のMy Project 4での「スキット作成」で学習したことを受けて、このMy Project 5では1年次よりもさらにレベルの上昇した紹介文を表現することに発展させる。

中学校学習指導要領解説外国語編(平成29年)には、第2章第2節内容(1)[思考力, 判断力, 表現力等](3)言語活動及び言語の働きに関する事項 オ 話すこと[発表](イ)「日常的な話題について、事実や自分の考え, 気持ちなどをまとめ, 簡単なスピーチをする活動。」、カ 書くこと(ウ)「日常的な話題について、簡単な語句や文を用いて、出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。」とある。生徒自身が就きたい職業に関して調べたり、憧れの人を紹介したりすることで、キャリア形成力の育成や英文を書くことへの意欲の向上を目指す。

【指導観】

本校の研究テーマは『「主体的に学ぶ生徒を育成する授業づくり」～『学習の振り返り』を通して学びを深める生徒の育成～』である。毎時間の授業の中で、振り返る場面を3回設定している。

一度目の導入時の振り返りでは、既習事項の確認と定着のためにペアで既習文法を活用した英問英答でのやり取りを行い、不定詞の的確な使用方法を振り返えらせ、正しい構文の定着を目指す。

二度目の展開時の振り返りでは、自分の思考を深め、表現の幅を広げるために3～4人のグループ交流を設定し、自分が書いた英文を他者に3つの視点(①単語・英文法のミス, ②英文の構成(内容のつながり, 段落など), ③英文内容深化のための具体案)を意識して見てもらうことで、自分のミスに気づいたり、内容深化の助言を受けたりして、自分の英文を改良させる。その際に、指導者が安易に助言をするのではなく、生徒同士でより良い表現を引き出すような問いかけをする。思考したことを用いて再挑戦させ、表現の幅を広げさせる。

三度目の終末時の振り返りでは、本時で学習したことを把握し、次への意欲を引き出すために、「自分の思考が深まったこと」というテーマで記述させる。グループ学習前後の英文の比較をさせることで、レベルの上昇した自分に気付かせ、英作文を書く意欲を引き出させたい。本時の授業を通して、英語の表現力を身に付けさせ、今後の学習につなげたい。

【生徒の主体的な学びを促すポイント】

- スピーチ原稿はモデル文をベースにして、自分の体験や夢について書き、オリジナルの内容にする。ただし、自分の言いたいことを必要に応じて文章を増やすことができる。
- 以前ペアで行ったスキット発表後に記述した振り返りを見ることで、自らの課題を発見させ、目標設定とさせる。
- スピーチ発表の評価指標を知ることで、自分の目標を明確にもたせ、それをめざして練習させる。

【基礎・基本の定着】

(1) 習得すべき基礎・基本について

- 不定詞を中心としたこれまでの既習事項を理解している。
- 正確に情報を伝えるために、正しい発音や強調を意識して話す。
- ナンバリングを使用させ、聞き手が理解しやすいよう内容のつながりを意識して英語で書く。

(2) 定着への手立て

- 授業中のパターンプラクティスと家庭学習において繰り返し練習させる。
- 授業開始時の帯学習で不定詞のインプットを行う。
- モデル文を参考にスピーチ原稿を書かせ、スピーチ原稿の形式の定着を図る。

5 単元の目標

- 不定詞を中心とした既習文法を復習して、スピーチ原稿作成に運用できる。
- モデル文の構成を理解し、自分が書く英文に生かすことができる。
- 聞き手に正確に紹介文を伝えるために、具体的な事柄を入れて話すことができる。

6 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
①相手に正確に伝わるスピーチにしようとして、詳細な情報を収集したり、辞書を使用して英文化したりして、少しでも多くの英文を書こうとしている。 ②友達からアドバイスを受け、それを生かしてより良いスピーチにしようとしている。	①聞き手が理解しやすい内容にするために、具体的な事柄を入れて書くことができる。 ②聞き手が理解しやすい内容にするために、具体的な事柄を入れて話すことができる。	/	①英作文の構成において、『はじめに』『展開』『まとめ』の3つの流れを正しく理解している。

7 本単元を通して伸ばしたい資質・能力

※塩町中学校区では、小中9年間で身に付けさせたい6つの能力を定めている。(重点◎)

塩町中学校区 6 能力	
カテゴリー 【学力の3要素】	資質・能力

1	<p>帯 英問英答 (ペア活動)</p> <p>○本単元のパフォーマンス課題を知る。</p> <p>「Dreams Come True ~ I want to be like ○○ ~」</p> <p>将来, 自分が何の職業に就きたいか, 誰に憧れているのかを, I want to be like ~ を必ず使って表現しましょう。これまでに学習したことをふんだんに使って, 就きたい理由や, 就くために必要な資格等も表現しましょう。途中で, 友達と意見交流する機会を設けます。そこで得た情報を取り入れて, 英文の内容の質を高めましょう。最終的に, スピーチ原稿を作成し, みんなの前で発表してもらいます。</p> <p>○書く力, 話す力の評価指標を知る。</p> <p>評価指標「書く力」(ルーブリック)</p> <table border="1" data-bbox="263 638 1428 1041"> <tr> <td data-bbox="263 638 454 806">A (素晴らしい)</td> <td data-bbox="454 638 1428 806"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 12文以上書けている。 ・ 既習文法, 既習単語のミスがない。 ・ 英文の構想『はじめに』『展開』『終わりに』を意識し, つながりのある内容になっている </td> </tr> <tr> <td data-bbox="263 806 454 952">B (良い)</td> <td data-bbox="454 806 1428 952"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8~11文書けている。 ・ 既習文法, 既習単語のミスが3ヶ所以内。 ・ つながりのある内容になっている。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="263 952 454 1041">C</td> <td data-bbox="454 952 1428 1041"> <ul style="list-style-type: none"> ・ Bに達しない。 </td> </tr> </table> <p>評価指標「話す力」(ルーブリック)</p> <table border="1" data-bbox="263 1142 1428 1422"> <tr> <td data-bbox="263 1142 454 1243">A (素晴らしい)</td> <td data-bbox="454 1142 1428 1243"> <ul style="list-style-type: none"> ・ Bができています。 ・ 英文を暗記して伝えている。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="263 1243 454 1355">B (良い)</td> <td data-bbox="454 1243 1428 1355"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正しい発音で伝えている。 ・ 聞き手に適切な声量で伝えている。 ・ 相手意識(目線, ジェスチャー)を持って伝えている。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="263 1355 454 1422">C</td> <td data-bbox="454 1355 1428 1422"> <ul style="list-style-type: none"> ・ Bに達しない。 </td> </tr> </table> <p>○教科書のモデル文を読んで, 内容や紹介文の書き方を理解する。 (1)</p>	A (素晴らしい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12文以上書けている。 ・ 既習文法, 既習単語のミスがない。 ・ 英文の構想『はじめに』『展開』『終わりに』を意識し, つながりのある内容になっている 	B (良い)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8~11文書けている。 ・ 既習文法, 既習単語のミスが3ヶ所以内。 ・ つながりのある内容になっている。 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・ Bに達しない。 	A (素晴らしい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ Bができています。 ・ 英文を暗記して伝えている。 	B (良い)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正しい発音で伝えている。 ・ 聞き手に適切な声量で伝えている。 ・ 相手意識(目線, ジェスチャー)を持って伝えている。 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・ Bに達しない。 							
A (素晴らしい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12文以上書けている。 ・ 既習文法, 既習単語のミスがない。 ・ 英文の構想『はじめに』『展開』『終わりに』を意識し, つながりのある内容になっている 																			
B (良い)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8~11文書けている。 ・ 既習文法, 既習単語のミスが3ヶ所以内。 ・ つながりのある内容になっている。 																			
C	<ul style="list-style-type: none"> ・ Bに達しない。 																			
A (素晴らしい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ Bができています。 ・ 英文を暗記して伝えている。 																			
B (良い)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正しい発音で伝えている。 ・ 聞き手に適切な声量で伝えている。 ・ 相手意識(目線, ジェスチャー)を持って伝えている。 																			
C	<ul style="list-style-type: none"> ・ Bに達しない。 																			
2	<p>帯 英問英答 (ペア活動)</p> <p>○『はじめに』『展開』『まとめ』の3部構成について理解する。</p> <p>○紹介文作成のための情報を収集し, スピーチ原稿を作成する。 (1)</p>				○	エ① 活動の観察	ア① 活動の様子	⑤キャリア 形成力(ワークシート)												
3	<p>帯 英問英答 (ペア活動)</p>																			

	<p>○3～4人のグループで作成した紹介文を見せ合い、内容が深化するような助言をしたり、訂正をしたりする。</p> <p>○友達からの助言や訂正を受けて、自分の英作文を深化させる。</p> <p>(1)</p>	◎				ア② 活動の観察	②表現力 (行動の観察)
4	<p>帯 英問英答 (ペア活動)</p> <p>○英作文の添削を行う。</p> <p>(2)</p>		○			イ① ワークシート	
5	<p>帯 英問英答 (ペア活動)</p> <p>○全体の前で発表する。</p> <p>(2)</p>		◎			イ② 発表	②表現力 (パフォーマンステスト)

9 本時の展開

(1) 本時の目標

友達からの助言を取り入れて、紹介文を改良することができる。

(2) 観点別評価規準

イ①聞き手が理解しやすい内容にするために、具体的な事柄を入れて書くことができる。

(3) 準備物

ワークシート、タブレット、モニター、英和・和英辞典

(4) 学習の展開

	学習活動	主な発問・指示 (○) 予想される生徒の反応 (☆) 「C」と判断される生徒への手だて (◆) 指導上の留意点 (●)	評価規準 【資質・能力】 (評価方法)
導入	<p>○指名された生徒によるあいさつ</p> <p>○ペア活動【不定詞インプット】(2回)</p>	<p>●適切な声、正しい発音で応答するよう促すことで、本時の英問英答の活動につなげる。</p> <p>◆発音等で詰まった場合、側に寄って支援する。</p> <p>☆S: Good Afternoon. SS: Good Afternoon. How are you? I'm fine. What's the date today? It's October 14th. What day is it today? It's Wednesday. What time is it now? It's 14:20. How's the weather today? It's sunny.</p> <p>○Let's do input about 不定詞. Make pair with your friend next to you. First, do janken. Winners ask questions. Losers answer. When you finish,</p>	

		<p>please wait until all students finish.</p> <ul style="list-style-type: none"> ●不定詞の定着を図るために、インプットシートを用い、ペアで一問一答のやりとりを行う。 ◆側に寄り、単語等を口頭で支援する。 <p style="text-align: center;"> 振り返り① 《不定詞を振り返らせる》 </p>							
展 開	○本時のめあて	○This is Today's Goal.							
		友達の助言を取り入れて、紹介文を改良することができる。							
	○この時間の評価指標を確認する。								
	<p>評価指標「書く力」(ルーブリック)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 15%;">A <small>(素晴らしい)</small></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・12文以上書けている。 ・既習文法、既習単語のミスがない。 ・英文の構想『はじめに』『展開』『終わりに』を意識し、つながりのある内容になっている </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B <small>(良い)</small></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・8～11文書けている。 ・既習文法、既習単語のミスが3ヶ所以内。 ・つながりのある内容になっている。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">C</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・Bに達しない。 </td> </tr> </table>			A <small>(素晴らしい)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・12文以上書けている。 ・既習文法、既習単語のミスがない。 ・英文の構想『はじめに』『展開』『終わりに』を意識し、つながりのある内容になっている 	B <small>(良い)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・8～11文書けている。 ・既習文法、既習単語のミスが3ヶ所以内。 ・つながりのある内容になっている。 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・Bに達しない。
	A <small>(素晴らしい)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・12文以上書けている。 ・既習文法、既習単語のミスがない。 ・英文の構想『はじめに』『展開』『終わりに』を意識し、つながりのある内容になっている 							
B <small>(良い)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・8～11文書けている。 ・既習文法、既習単語のミスが3ヶ所以内。 ・つながりのある内容になっている。 								
C	<ul style="list-style-type: none"> ・Bに達しない。 								
○事前に書いた英文をグループ内で発表し合う。	<p>○Please have your worksheet. Look at Step 8. Today, you are going to write your speech script in English. So you do your speech from now. Please make a group. I'll give you 3 minutes.</p> <ul style="list-style-type: none"> ●正確に聴衆に伝わるよう、正しい発音かつ適した音量で話すよう指示する。 ◆英文が書けていない生徒には、日本語で話すよう指示する。 								
<p>《B評価例》</p> <p>I want to be baseball player. I like baseball very much. And I like Hiroshima Toyo Carp. I like Suzuki Seiya. I want to be like him. I think he is good baseball player. I practice baseball hard every day. Do my best.</p>									
<p>《A評価例》</p> <p>I'm going to talk about my father. He is an English teacher. I want to be like him. I have two reasons. First, he knows a lot of things. He can talk about U.K. I want to go there with him. Second, he's interesting. He talks about funny stories. I always feel fun. I'd like to study English hard like my father. I want to be an English teacher.</p>									
○助言のモデルを示	○From now, talk about your sentences with your								

<p>す。</p> <p>○グループ活動（ワークシートの交換）で相互チェックを行う。</p>	<p>group members. Please look at your worksheet Step 6.</p> <p>I'll give you a worksheet of Step 7. Let's check these sentences with 3 points. I'll give you 3 minutes.</p> <p>●例文を用いて、3つの視点〈①単語・英文法のミス、②英文の構成（内容のつながり、段落など）、③英文内容深化のための具体案〉を説明する。</p> <p>◆視点①に特化させ、スペルミスや不定詞に注目させる。</p> <p>○ Check your friends' sentences with 3 points. First, you must check Point 1. Second, you must check Point 2. Second, you must check Point 3. Now round 1. Pass the worksheet clockwise to your left. I'll give you 2 minutes.</p> <p>●英文チェックで困っている生徒の姿をメモしながら机間巡視する。</p> <p>●ワークシートを用いて、3つの視点を確認する。</p> <p>◆側に寄り、3つの視点〈①単語・英文法のミス、②英文の構成（内容のつながり、段落など）、③英文内容深化のための具体案〉に基づいて支援する。</p>	<p>ア②友達からアドバイスを受け、それを生かしてより良いスピーチにしようとしている。</p> <p>【表現力】 (活動の観察)</p>
<p>【交流の方法】</p> <p>3～4人のグループになる。</p> <p>① 自分のワークシートを左隣りの人に渡す。</p> <p>② 『助言』欄に、赤ペンで指定された視点を基にした助言を書く。</p> <p>③ 1回目：単語・英文法のミス 2回目：英文の構成（内容のつながり、段落など） 3回目：英文内容深化のための具体案</p> <p>④ 助言記入時間として、2分間与える。</p> <p>⑤ 終了後、左隣りの人に渡す。</p> <p>⑥ ①～⑤を繰り返す。</p> <div data-bbox="954 1395 1201 1615" data-label="Diagram"> </div>		
	<p>○Time is up. Stop checking. Look at me. 英文チェックをしてみて、何か困ったことや分からなかったことはありますか。</p> <p>☆「○○」を英語で表現するためには、どうすればいいのかわからなかった。</p> <p>☆文法ミスに気が付けたけど、正しく訂正できているかどうか不安だ。</p> <p>○Now round 2. Pass the worksheet clockwise to your left. I'll give you 2 minutes.</p>	

	<p>○リライト（自分の作成した英作文に加筆・修正）する。</p> <p>○リライトした英文をグループ内で発表し合う。</p>	<p>○Time is up. Stop checking. Look at me. 英文チェックをしてみて、何か困ったことや分からなかったことはありますか。</p> <p>☆内容につながりがないことに気が付いたけど、適切なアドバイスができなかった。</p> <p>○Now round 3. Pass the worksheet clockwise to your left. I'll give you 2 minutes.</p> <p>○Time is up. Stop checking. Look at me. 英文チェックをしてみて、何か困ったことや分からなかったことはありますか。</p> <p>☆内容深化のためのアドバイスの仕方が分からない。</p> <p>☆もっと詳しい説明が欲しいけれど、内容が複雑になりそうで、書いた人を困らせそうな気がした。。</p> <p>●計3回、実践（英文チェック）と全体共有（振り返り）を繰り返すことで、視点を意識させたより良い指摘に進化させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>振り返り② 《友達からもらった助言を基に、自分の英文をさらに深化させる》</p> </div> <p>○You get new ideas. I'll give you a worksheet of Step 9. So you rewrite sentences. I'll give you 5 minutes.</p> <p>●旧英文と友達からの助言を比較させることで、良い表現方法を取り入れて、内容的に深化した英文を書かせる。</p> <p>◆教科書の例文を参考にして自分に置き換えた英文を書き、その英文に友達から得た助言を付け加えさせることで、英作文に対する自信の基盤を作らせる。</p> <p>○You do your speech again.</p> <p>助言前と助言後の2枚のワークシートを見せ、聞いている人は変化に気付こう。そして、肯定的な感想を述べあおう。</p> <p>Please make a group. I'll give you 5 minutes.</p>	<p>イ①聞き手が理解しやすい内容にするために、具体的な事柄を入れて書くことができる。</p> <p>【表現力】 (ワークシート)</p>
<p>まとめ</p>	<p>○振り返り</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>振り返り③ 《本時の内容について、「自分の思考が深まったこと」を、『振り返りシート』に記述させる》</p> </div> <p>○Please write an evaluation sheet. Today's topic is No.2.</p> <p>●初めに書いた英文と比較させ、良くなったことや深化したことを実感させる。</p>	

	<p>○宿題, 次時の確認</p>	<p>☆自分のアイデアにないアドバイスもらったので, 英文がより良くなりました。</p> <p>☆1人ではなかなか難しいことでも, 友達に助けをもらうことで, 英文を書く楽しさに気付くことができました。</p> <p>☆友達に助言をすることで, 自分自身も英文を書くうえで大切なことを再確認することができました。</p> <p>☆憧れの人物についての記述が少ないと指摘されたので, 具体的に説明することにより, 英文の内容を深化させることができました。</p> <p>☆自分の将来の夢に関して, 自分には持っていない新たな視点を得て, それを英文にすることができた。</p> <p>○Please collect your evaluation sheet from the back. Today's homework is to write sentences in English about your dream. Tomorrow, ALTs will check your sentences.</p>	
--	-------------------	---	--

10 板書計画

<p>学習のめあて</p>	<p>友達の助言を取り入れて, 紹介文を改良することができる</p>	<p>振り返り ②</p>
<p>Oct. 14th (Wed) 14:20 sunny</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. Input Sheet 2. Write sentences 3. Group Work 4. Rewriting 5. Evaluation 	<p>※机間指導をしているときに, 良い点, 気づいた点等があれば, 板書に示して, 生徒にポイントを知らせる</p>